



花の香りで鼻を癒す 工業地帯に彩りを

●神奈川県横浜市●



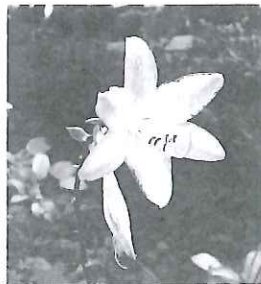
香りの生垣と季節感じる香りの道



入船里山の小道



ユリ・マルコポーロ



香りギボウシ

所在地：神奈川県横浜市鶴見区弁天町 3-1
(入船公園内)

・JR 鶴見線「浅野駅」から徒歩 1 分
・JR 鶴見駅東口より、横浜市営バス、
15 系統本町通循環または、27 系統
安善町行に乗り、「入船橋」バス停
下車徒歩 3 分

電話：045-501-2343

見ごろ：春の満開のサクラとチューリップは
地域の方にも大変人気で、鶴見区の
4 月のカレンダーにも選ばれました。
香りの小道でも、香りのあるチュ
リップを植栽予定です。ぜひお越し
下さい。

横浜市鶴見区の京浜工業地帯と住宅街の境にある入船公園は、たくさんの緑に囲まれ、様々な年代の方が思い思いに過ごす、地域の憩いの公園です。そんな入船公園ですが、工業地帯という立地のため、近隣工場から発生する不快なおいが問題となっています。

環境省主催の第 11 回「みどり香るまちづくり」企画コンテストにおいて「におい・かおり環境協会賞」を受賞させていただいたこの企画は、不快なおいを植物の香りによって緩和しようという、今までに例のない珍しい企画です。対象地は工場と隣接し、園内で最も不快なおいのつよい場所（ゲートボール場）で、その周囲に香りの小道を通し、利用者の感覚を不快なおいから植物の香りへとシフトさせる植栽を心がけました。また、対象地は既存樹や隣接工場の建物の影響で日陰になることが多く、耐陰性のある植物が中心となっています。

平成 29 年の 6 月に植栽を終えたばかりの香りの小道は、完成から数ヶ月が経ちました。完成直後の初夏はユ

リヤクチナシ、既存のトウネズミモチの香りが辺りに漂い、現在は香りのギボウシが次々と花を咲かせ、鼻を近づけるととても良い香りがします。これから先は、秋のキンモクセイ、冬のソシンロウバイ、春にはジンチョウゲが辺りを香りで包んでくれることを楽しみにしています。

本計画を実際につくったその効果は、まだはっきりとは分からず、推測の域を出ません。しかし、現時点でも言えるのは、今回の受賞によって、利用者の方に入船公園の不快なおいの問題を再認識してもらえたこと、このコンテストを知っていただき、香り植物についても関心を持っていただけたこと、これらはとても大きな成果であると思います。

今後も管理しながら、効果について検証していき、また、今回の受賞をきっかけに、私たちのような企画が増えてくれることを期待しています。

(入船公園管理事務所)